

元気なあいさつで気持ちよく

匝瑳小学校 五年 関 唯那

「おはよう。」

登校すると、校庭や教室から元気なあいさつが聞こえてきた。元気で、気持ちのいいあいさつだ。

「おはよう。」

と、あいさつを返すと、向こうから友達が手をふつてくれた。「今日も始まるぞ。」と、やる気がわいてくる。友達のあいさつから、パワーをもらおう。気持ちよく、今日も一日がスタートした。

昼そうじ、階段で三年生が一生けんめいそうじをしていたので、

「ごくろうさま。」

と声をかけようとしたら、先に

「こんにちは。」

と、笑顔で元気なあいさつをしてくれた。とってもうれしい。私も笑顔で、さわやかなあいさつをしよう。

放課後は、ミニバス練習。大好きなミニバスができるのは、いろんな人のおかげなのでちゃんと感謝して練習をする。

「お願いします。」

「ありがとうございました。」

体育館へのあいさつは、自分たちが今日も元気で練習ができることに感謝して、大きな声でする。

練習中も大きな声を出して、一人一人の気持ちをつなぐ。チームの心を一つにする。

あいさつは、元気になる。元気をもらう。人と人をつなぐ。笑顔になる。みんなの心を一つにする。

家族も、地域も、みんなが気持ちよくあいさつを交わせば、みんなが笑顔で暮らせると思う。

私たちの住む匝瑳市も、みんなが笑顔であいさつをし、みんなが元気で気持ちよく過ごせる街にしたい。あいさつが人と人の心をつなぎ、みんなが幸せになると思う。